

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社経営志援

②施設・事業所情報

名称：エンジョイホーム	種別：共同生活援助
代表者氏名：管理者 田中 裕子	定員（利用人数）： 13（13）名
所在地：三重県鈴鹿市平田本町2丁目21-16	
TEL：059-395-6322	ホームページ：https://www.e-enjoy.co.jp/school/school15/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和3年3月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社エンジョイ	
職員数	常勤職員： 4名 非常勤職員： 15名
専門職員	介護福祉士： 1名
施設・設備の概要	（平田）男性用居室：5 （神戸・末広）女性用居室：各4 食堂・居間・トイレ・洗面所・風呂場等

③理念・基本方針

【理念】

私たちはご利用者さまの圧倒的な笑顔を創る

【基本方針】

私たちは、ご利用者さまが社会に必要な人材として前人未到の可能性を信じ、日々の支援を行う

④施設・事業所の特徴的な取組

エンジョイホームでは、余暇活動のほか、四季折々のイベントや地域交流、美味しい食事の提供等を通して、障がいのある利用者が地域の中で充実した生活を送れるよう支援している。

- ・余暇活動の充実、地域交流、イベント活動の充実
- ・通院同行支援サービス、買い物等同行支援サービス
- ・体調管理（栄養管理、訪問看護）、金銭管理、服薬管理等

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年 11月28日（契約日） ～ 令和7年 3月 26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回

⑥総評

◇特に評価の高い点

【利用者を尊重した支援】

利用者を尊重した支援を行うため、各ホームで月1回の会議、月1回の虐待防止や秘密保持に関するアンケートの実施、相談支援センターからの研修資料の回覧、日々の申し送り等で意識を高めている。各ホーム内でも、プライバシー保護に関する掲示物や個人情報管理が徹底されている。また、利用者の障害特性の理解に努め、利用者一人ひとりに応じて、配慮すること等も共有する仕組みを整えている。利用者が不穏にならないよう、面談と伝えるのではなく「お部屋に行きます」と伝え、緊張せず話ができるように配慮が行われており、利用者を尊重する姿勢が強く感じられる。

【管理者のリーダーシップとスピード感】

訪問調査での指摘からすでに改善に取り組んでおり、スピード感を持って取り組む姿勢は評価が高い。また、管理者一人で抱え込まないよう、役割分担をしながら人材育成に繋げようとして取り組んでおり、そのための仕組みづくりや今後の事業展開を考慮した取組は評価できる点である。

◇改善を求められる点

【中・長期事業計画の策定と内容の具体化】

法人の5ヶ年計画はあるものの、事業所独自の中・長期計画は策定されていない。法人の中・長期計画を踏まえた、運営全般にわたる事業所独自の中・長期計画の策定と、それに基づく単年度事業計画を具体化して策定することに期待したい。また、方向性の統一や職員の理解を促すためにも、多くの職員の参画があると良い。

【人材育成に向けた面談の実施】

職員との面談は行われているが、人材育成のための面談とは言えないため、面談による目標設定と進捗状況の確認、目標達成のサポート等で、モチベーションの向上や意識改革が行われることに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、当施設の第三者評価にご対応下さいました株式会社経営志援の評価者の皆様には、心より感謝申し上げます。

当施設は更なるサービスの質の向上を目指して、今回初めて第三者評価を受審させていただきました。外部からの評価を頂くことにより、法人・施設としての課題だけではなく、評価に携わった職員自身の『気づき』だったり、足りなかった部分や改善点が見えてきました。今後の更なるサービスの向上・改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。今回の評価についてPDCAサイクルを活用しながら、当法人の理念にもある、ご利用者さまの『圧倒的な笑顔を創る』ことが出来るように、職員も『この施設で働くことができて良かった』と思っていただけるように、これからも施設づくりに努力して参ります。今後ともご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。この度はありがとうございました。

⑧別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。